

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
1	後期高齢者医療制度関係事務 基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

神奈川県後期高齢者医療広域連合は、後期高齢者医療制度関係事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

神奈川県後期高齢者医療広域連合

公表日

令和6年3月14日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務

①事務の名称	後期高齢者医療制度関係事務
	<p><制度内容></p> <p>後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき実施される。第1条では「国民の高齢期における適切な医療の確保を図るため、医療費の適正化を推進するための計画の作成及び保険者による健康診査等の実施に関する措置を講ずるとともに、高齢者の医療について、国民の共同連帯の理念等に基づき、前期高齢者に係る保険者間の費用負担の調整、後期高齢者に対する適切な医療の給付等を行うために必要な制度を設け、もって国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。」と目的が規定されている。</p> <p>運営主体は、都道府県ごとに設置する後期高齢者医療広域連合(その都道府県の区域内の全市区町村が加入、政令指定都市含む)となる。運営主体は広域連合だが、高齢者の医療の確保に関する法律施行令等に基づき、保険料の徴収の事務、資格・給付に関する申請及び届出並びに窓口業務については市区町村が処理する。</p> <p>財政は、医療給付費の約5割を公費(内訳は国:都道府県:市区町村=4:1:1)で、約4割を各医療保険の加入者で負担し(後期高齢者交付金)、残りの約1割を被保険者の保険料で負担している。</p> <p>被保険者は、広域連合の区域内に住所を有する75歳以上の者又は広域連合の区域内に住所を有する65歳以上75歳未満の者であって、広域連合から障害等による被保険者資格の認定を受けた者である。</p> <p>後期高齢者医療制度の特徴として、次の点が挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・年齢到達等により被保険者となると、現在加入している国民健康保険等の医療保険から移行し、後期高齢者のみで構成する医療保険であること・保険料の徴収方法が原則として年金からの特別徴収(天引き)となること・加入者全員が「被保険者」となること(「被扶養者」という概念はない。) <p>また、他の医療保険者等と共同して「被保険者等に係る情報の収集又は整理に関する事務」及び「被保険者等に係る情報の利用又は提供に関する事務」を「社会保険診療報酬支払基金(以下「支払基金」という。))又は国民健康保険団体連合会(以下「国保連合会」という。)))(以下「支払基金等」という。))に委託することができる旨の規定が高齢者の医療の確保に関する法律に盛り込まれ、加入者の資格履歴情報と被保険者枝番の採番管理、地方公共団体等と情報提供ネットワークシステムを通じた情報照会・提供、加入者の本人確認に係る事務、その事務処理に必要な情報提供ネットワークシステムに接続する医療保険者等向け中間サーバー等(以下「中間サーバー」という。))及び住民基本台帳ネットワークシステムに接続するためのサーバーの運用・管理を支払基金等に一元的に委託することが可能になった。</p> <p>さらに、「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」によりオンライン資格確認のしくみの導入を行うとされたことを踏まえ、オンライン資格確認等システムで被保険者等の資格情報を利用するために、資格履歴情報から個人番号を除いた情報をオンライン資格確認等システムへ提供することについても、あわせて支払基金等に委託することになった。</p> <p><事務内容>(※詳細は、「(別添1)事務の内容」を参照)</p> <p>後期高齢者医療制度では、各都道府県の広域連合と市区町村が連携して事務を行う。基本的な役割分担は、</p> <ul style="list-style-type: none">・広域連合:被保険者の資格管理や被保険者資格の認定、保険料の決定、医療の給付・市区町村:各種届出の受付や被保険者証等の引き渡し等の窓口業務、保険料の徴収

<p>②事務の概要</p>	<p>特定個人情報ファイルを取り扱う事務は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資格管理業務 <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者証等の即時交付申請 <p>市区町村は住民から個人番号が記入された被保険者資格に関する届出を受け付け、広域連合に届出書を送る。広域連合にて届出書の審査・決定を行い、市区町村から当該住民に対して被保険者証等を発行する。(※1)</p> ・住民基本台帳情報等の取得、被保険者資格の異動 <p>市区町村は広域連合に住民基本台帳等の情報を送付し、広域連合において年齢到達者等を特定して被保険者資格の審査・決定を行い、広域連合から当該住民に対して被保険者証等を発行する。上記と併せて、被保険者情報等の管理を行う。</p> <p>(※1)他の保険者から新規加入してきた被保険者の資格認定にあたり確認情報が必要な場合は、情報提供ネットワークシステムを利用して従前の保険者に情報照会し、資格喪失していることを確認することも可能。</p> 2. 賦課・収納業務 <ul style="list-style-type: none"> ・保険料賦課 <p>市区町村から広域連合に所得情報等を送付し、広域連合において賦課計算を行い保険料賦課額を決定した上で、市区町村から当該住民に対して賦課決定通知書等で通知する(※2)。</p> ・保険料収納管理 <p>広域連合で決定した保険料賦課額に基づき、市区町村において保険料に関する徴収方法と納期を決定し、特別徴収の場合は年金保険者に徴収依頼を実施するとともに当該住民には特別徴収額通知書等で通知し、普通徴収の場合は当該住民に納付書を送付し、特別徴収や普通徴収に関する収納管理を行う。</p> <p>(※2)保険料賦課にあたり所得情報等の確認が必要な場合、情報提供ネットワークシステムを利用して他の情報保有機関に照会し確認することも可能</p> 3. 給付業務 <p>市町村において、住民から個人番号が記入された療養費の支給の申請等に関する申請書を受け付け、広域連合に申請書を送る。</p> <p>広域連合にて申請内容の審査・支給決定を行い、後期高齢者医療給付支給決定通知書等(以下、「支給決定通知書等」という。)を交付する。(※3)</p> <p>(※3)給付の決定にあたり給付要件の確認が必要な場合、また、口座登録簿関係情報の確認が必要な場合、情報提供ネットワークシステムを利用して他の情報保有機関に照会し確認することも可能。</p> 4. 加入者情報作成(「1. 資格管理業務」に付随する業務) <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月以降、国保連合会から委託を受けた国民健康保険中央会が、広域連合からの委託を受けて、加入者の資格履歴情報の管理を行うために、広域連合から被保険者及び世帯構成員の個人情報を抽出し、中間サーバーに登録を行う(※4)。 ・また、医療保険者等内で個人を一意に識別するための番号でもある「被保険者枝番」を中間サーバーより受領し、広域連合において管理する。 <p>(※4)資格喪失や異動など資格関係情報に変更があった場合、中間サーバーの登録情報を更新する。</p> 5. 副本作成(「1. 資格管理業務」、「3. 給付業務」に付随する事務) <ul style="list-style-type: none"> ・中間サーバーが他の情報保有機関からの情報提供の求めを受け付けた場合に、システムの自動処理により、医療保険者等の論理区画(副本情報)から提供に必要な情報を取得して情報提供が実施できるように、被保険者資格情報及び給付に関する情報を抽出し、中間サーバーに登録を行う。 6. 情報照会(「1. 資格管理業務」、「2. 賦課・収納業務」、「3. 給付業務」に付随する事務) <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供ネットワークシステムを通じた情報照会(※5)は、中間サーバーが集約して実施するため、情報照会に関する情報を編集し、中間サーバーに登録を行う。 ・また、中間サーバーから情報照会結果等を受領し、広域連合において管理する。 <p>(※5)情報提供ネットワークシステムを通じた情報照会・提供は、支払基金を経由して行う。</p> 7. 地方公共団体情報システム機構からの個人番号入手(「1. 資格管理業務」に付随する事務) <ul style="list-style-type: none"> ・市区町村から個人番号が取得できない場合や、個人番号又は基本4情報を確認する必要がある場合には、住民基本台帳法第30条の9の規定に基づき、支払基金を介して地方公共団体情報システム機構から個人番号や基本4情報を取得する。
<p>③システムの名称</p>	<p>後期高齢者医療広域連合電算処理システム(標準システム)</p>
<p>2. 特定個人情報ファイル名</p>	

3. 個人番号の利用

法令上の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・番号法 第9条及び別表第一第59号 ・番号法別表第一の主務省令で定める事務を定める命令 第46条 ・住民基本台帳法 第30条の9
--------	---

4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携

①実施の有無	[実施する]	<選択肢> 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定
--------	----------	---------------------------------------

②法令上の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・番号法 第19条第7号(特定個人情報の提供の制限) (照会)別表第二 項番80、81 番号利用法別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令 第43条 (提供)別表第二 項番1、2、3、4、5、17、22、26、27、30、33、39、42、43、58、62、80、82、87、93、97、106、109、119 番号利用法別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令 第1条、第2条、第3条、第4条、第5条、第12条の3、第15条、第19条、第20条、第22条の2、第24条の2、第25条、第25条の2、第31条の2、第33条、第43条、第44条、第46条、第49条、第53条、第55条の2、第59条の3 ・高齢者の医療の確保に関する法律第165条の2(支払基金等への事務の委託) (照会)第1項 第1号 (提供)第1項 第2号 (委託)第2項 <p>当広域連合は、高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき、支払基金に情報提供ネットワークシステムを通じた情報照会・提供事務を委託する。情報提供ネットワークシステムを通じて取得した情報を保険給付の支給等の事務に活用するのは本広域連合であるが、情報提供ネットワークシステムに接続する主体は支払基金である。</p>
---------	---

5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	資格保険料課、給付課
②所属長の役職名	資格保険料課長、給付課長
6. 他の評価実施機関	
—	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	神奈川県横浜市神奈川区栄町8番地1 ヨコハマポートサイドビル9階 神奈川県後期高齢者医療広域連合 総務課
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	神奈川県横浜市神奈川区栄町8番地1 ヨコハマポートサイドビル9階 神奈川県後期高齢者医療広域連合 総務課

II しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人が	[30万人以上]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	平成31年4月30日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人以上]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	平成31年4月30日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生なし]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

III しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価及び全項目評価の実施が義務付けられる

IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[基礎項目評価書及び全項目評価書]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書
2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。		
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 []委託しない		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) []提供・移転しない		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 []接続しない(入手) []接続しない(提供)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 監査		
実施の有無	[<input type="radio"/>] 自己点検 [] 内部監査 [] 外部監査	
9. 従業者に対する教育・啓発		
従業者に対する教育・啓発	[十分に行っている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	(記載なし)	また、他の医療保険者等と共同して「被保険者等に係る情報の収集又は整理に関する事	事前	
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	住民から個人番号が記入された被保険者資格に関する届出を受け付け、広域連合に届出	市区町村は住民から個人番号が記入された被保険者資格に関する届出を受け付け、広域	事後	自己点検に伴う記載の修正
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	市区町村から広域連合に住民基本台帳等の情報を送付し、広域連合において年齢到達者	市区町村は広域連合に住民基本台帳等の情報を送付し、広域連合において年齢到達者等	事後	自己点検に伴う記載の修正
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	(記載なし)	(※1)他の保険者から新規加入してきた被保険者の資格認定にあたり確認情報が必要な場	事前	
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	(記載なし)	(※2)保険料賦課にあたり所得情報等の確認が必要な場合、情報提供ネットワークシステム	事前	
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	(記載なし)	(※3)給付の決定にあたり給付要件の確認が必要な場合、情報提供ネットワークシステムを	事前	
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	(記載なし)	4. 加入者情報作成(「1. 資格管理業務」に付随する業務)	事前	
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	(記載なし)	5. 副本作成(「1. 資格管理業務」、「3. 給付業務」に付随する事務)	事前	
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	(記載なし)	6. 情報照会(「1. 資格管理業務」、「2. 賦課・収納業務」、「3. 給付業務」に付随する事務)	事前	
平成29年2月17日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを	(記載なし)	7. 地方公共団体情報システム機構からの個人番号入手(「1. 資格管理業務」に付随する事	事前	
平成29年2月17日	I 関連情報 4. 情報提供ネットワークシ	実施しない	実施する	事前	
平成29年2月17日	I 関連情報 5. 評価実施機関における	資格保険料課長 網本 淳、給付課長 岩崎 均	資格保険料課長 網本 淳、給付課長 細野昭正	事後	人事異動に伴う記載の修正
平成29年2月17日	II しきい値判断項目 1. 対象人数	平成27年3月31日時点	平成28年3月31日時点	事後	自己点検に伴う記載の修正
平成29年2月17日	II しきい値判断項目 2. 取扱者数	平成27年3月31日時点	平成28年3月31日時点	事後	自己点検に伴う記載の修正
平成29年12月28日	I 関連情報 4. 情報提供ネット	・番号法 第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)	・番号法 第19条第7号(特定個人情報の提供の制限)	事後	法令に合わせた記載の修正
平成29年12月28日	I 関連情報 5. 評価実施機関における担	資格保険料課長 網本 淳、給付課長 細野昭正	資格保険料課長 細野 昭正、給付課長 村田 典久	事後	人事異動に伴う記載の修正
平成30年4月27日	II しきい値判断項目 1. 対象人数	平成28年3月31日時点	平成29年3月31日時点	事後	自己点検に伴う記載の修正
平成30年4月27日	II しきい値判断項目 2. 取扱者数	平成28年3月31日時点	平成29年3月31日時点	事後	自己点検に伴う記載の修正
平成30年4月27日	I 関連情報 5. 評価実施機関における担当部署 ②所属長	資格保険料課長 細野 昭正、給付課長 村田 典久	資格保険料課長 佐藤 修一、給付課長 村田 典久	事後	人事異動に伴う記載の修正
令和1年6月7日	I 関連情報 5. 評価実施機関における担当部署 ②所属長	資格保険料課長 佐藤 修一、給付課長 村田 典久	資格保険料課長 佐藤 修一、給付課長 千葉 恵子	事後	人事異動に伴う記載の修正
令和1年6月7日	IV リスク対策	記載無し(新規)	新たに規定された1～7の項目について追記	事後	評価書様式の変更に伴う追記
令和1年6月24日	I 関連情報 5. 評価実施機関における担当部署 ②所属長	資格保険料課長 佐藤 修一、給付課長 千葉 恵子	資格保険料課長、給付課長	事後	指針の変更に伴う追記
令和2年6月1日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務 ②事務の概要	(追記)	さらに、「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」によりオンライン資格確認のしくみの導入を行うとされたことを踏まえ、オンライン資格確認等システムで被保険者等の資格情報を利用するために、資格履歴情報から個人番号を除いた情報をオンライン資格確認等システムへ提供することについても、あわせて支払基金等に委託することになった。		
令和4年12月1日	I 関連情報 1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務 ②事務の概要	(※3)給付の決定にあたり給付要件の確認が必要な場合、情報提供ネットワークシステムを利用して他の情報保有機関に照会し確認することも可能。	(※3)給付の決定にあたり給付要件の確認が必要な場合、また、口座登録簿関係情報の確認が必要な場合、情報提供ネットワークシステムを利用して他の情報保有機関に照会し確認することも可能。	事前	事務の追加に伴う修正